

令和6年度 自己評価・学校関係者評価書

認定こども園中央幼稚園

1 幼稚園の教育目標

正しく（良い事、悪い事の判断を身につけよう。悪いと思う事をしない勇気を持とう。）
強く（心身ともにたくましくなろう。）
仲良く（親、兄弟、友だちを思いやり、感謝し、仲良く生活しよう。）

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

引き続きバスでの置き去り事故や不適切保育が問題視されている社会状況を踏まえ、保護者が安心して園児を預け、園児が安心・安全な園生活が送れるように保育をしていく。仕組みの見直しや職員間の情報共有、意思疎通を重点課題とし、保育に取り組んでいく。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理 由	関係者評価
① 保育の計画性	3.80	保育は計画的に行われ、適切に見直しや園児の実態に合わせた修正が行われている。今後も園児が主体的に関われるような保育を進めて頂きたい。	3.8
②保育のあり方 幼児への対応	3.80	バスの点検や保育の見直し等を継続し園児の安心・安全に配慮した保育がされていた。情報共有の仕組みも整っている。	3.7
③教師として資質 能力、適正等	3.68	自然や社会の出来事にも興味を持ち、各自が高度な専門知識や技能を高められるよう研修に参加する事が出来ていた。	3.7
④保護者への対応	3.90	保護者からの要望や相談をすぐに報告し職員間で話し合い、迅速な対応が出来ている。引き続き安心・安全な保育を心掛けて頂きたい。	3.8
⑤地域の自然や地 域との関わり	3.28	未就園児向けのイベントやお誕生日会を定期的に行い、保護者の子育てに関する相談にのることが出来ていた。	3.2
⑥研修と研究	3.29	各職員が各自興味のある研修に参加し、専門的な知識や新たな情報を取り入れるよう今後も努めて頂きたい。	3.5

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

1. 幼保連携型認定こども園に移行し 8 年目で運営は安定して行われている。
近年不適切保育やバス事故の問題が取り上げられていたが今年度は意識が薄れてきている部分もある為、定期的な職員間での話し合い、仕組みの見直しが求められている。引き続き園児が安全な環境の元、安心して園生活が送れるよう職員間での情報共有や意思疎通に努めていきたい。

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育者としての姿勢 (職員同士の協力・連携)	引き続き社会情勢を絶えず捉えながら自らの保育を振り返り、職員間でお互いに保育に関して意見交換し合える雰囲気作りをしていく。子ども達の安心・安全を第一に考え、見直すべき所や新たに組みたい事などを取り入れていく。保護者にも安心して預けて頂けるよう職員間の情報伝達の徹底、園内研修等に力を入れていく。 一人一人の職員が共通認識の元で保育に励める職場作りをしていく。

6 学校関係者評価委員会からのコメント

認定こども園 8 年目となり運営や保護者への対応は安定し問題ないと感じられました。今年度は年度途中で理事長（副園長先生）がご逝去され職員間に不安や混乱があった事と思います。しかし園長先生、事務長先生の指導の下、副園長先生の意志を継ぎ職員で団結して保育に取り組む姿が見られました。まだ今まで通りとはいかない部分もあると思いますが今後も職員で協力して保育を進めて頂きたいと思います。近年は保護者の要望や相談内容も細くなっていると感じられる為、職員間での情報共有や意思疎通に重点を置き、一致団結して園を盛り立てて頂きたいと思います。

今後も「子どもたちの未来のために」を合言葉に充実した保育の提供を宜しく願います。